



Japan Environmental Storage & Safety Corporation

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

News Release

平成 28 年 6 月 28 日

北九州 PCB 処理事業所 2 期施設で保管していたドラム缶からの 廃液の漏洩に関する原因と再発防止策について（報告）

当社北九州 PCB 処理事業所 2 期施設において、自動倉庫に保管中のドラム缶から PCB を含む廃液（PCB 濃度 9 ㎍/5ℓ）の漏洩事象が発生しましたが、この事象に伴う施設外への漏洩はありませんでした（6 月 21 日付既報）。

公表後、当社では、北九州市、環境省のご指導を頂きながら、その原因と再発防止策をとりまとめ、本日、北九州市に報告書（添付）を提出いたしました。

今回の事案において、漏洩した廃液は、セーフティネットとして外部への漏洩防止のために用意していたパレット内に留まり、施設外への漏洩はなく、作業員への影響もないことが確認されましたが、市民の皆さまにご心配をおかけし、大変申し訳ありませんでした。再発防止策を直ちに実行し、今後とも、安全かつ確実な操業を推進してまいります。

【添付資料】北九州 PCB 処理事業所 2 期施設で保管していたドラム缶からの廃液の漏洩に関する報告書

<連絡先>

中間貯蔵・環境安全事業株式会社北九州 PCB 処理事業所

所長	安井 仁司 (093 - 752 - 1188)
副所長	宗佐 和彦 (同 上)
安全対策課長	渡辺 正基 (同 上)